

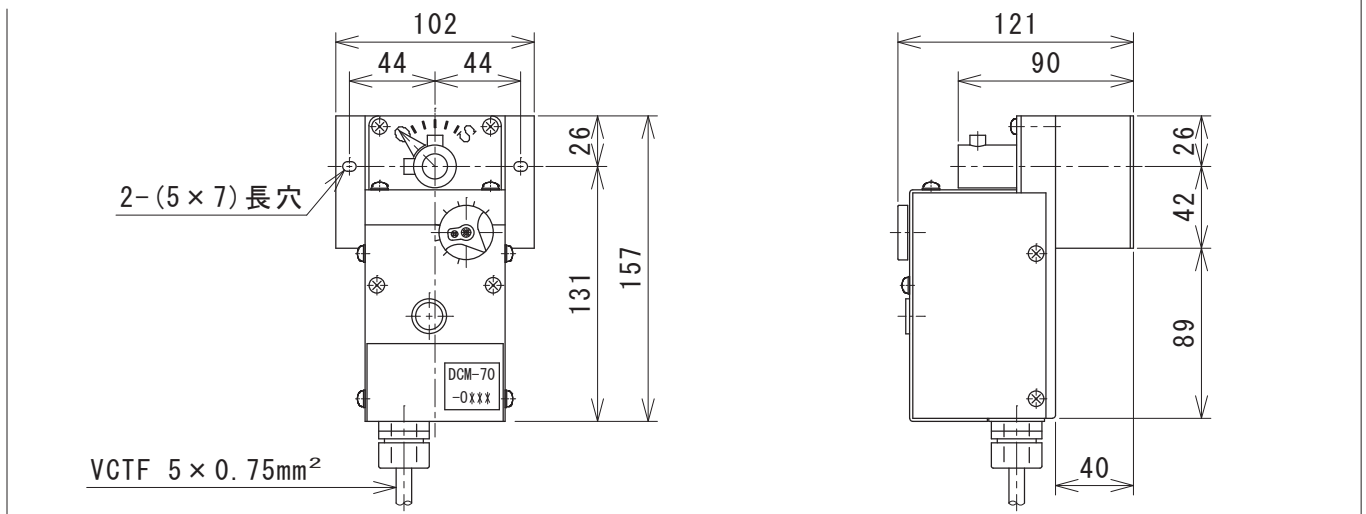
DCM-70-024・0200 DCM-2-024・0200 取扱説明書

このたびは、本操作機器をご採用頂きまして、誠に有難うございます。本操作機器を、正しくお使いいただくために、必ず当取扱説明書をお読み下さい。
また当取扱説明書は、最終ユーザー様のお手元に届くようご配慮下さい。

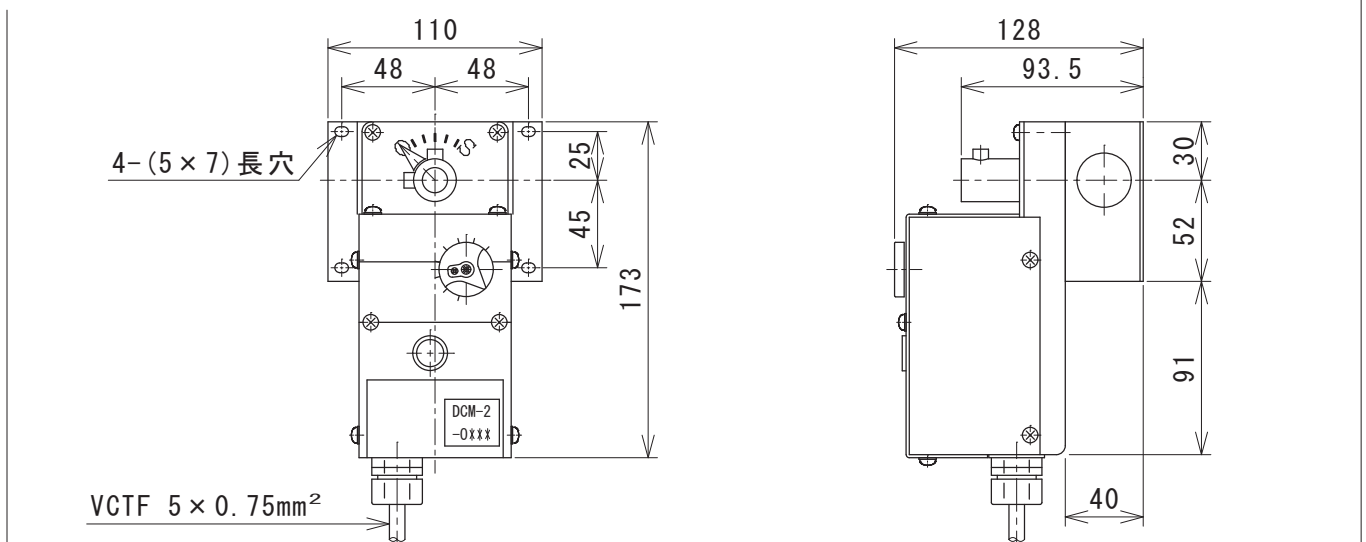
◆仕様

	DCM-70-024	DCM-70-0200	DCM-2-024	DCM-2-0200
電 源 電 圧	AC 24V 50/60Hz	AC 90V～ 240V 50/60Hz	AC 24V 50/60Hz	AC 90V～ 240V 50/60Hz
	DC 24V		DC 24V	
消 費 電 力	8W	11.5W……100V	7.2W	9 W……100V
		12.5W……200V		11 W……200V
最 大 電 流 値	330mA		300mA	
最 大 ト ル ク	7N・m {70kgf・cm}		18N・m {180kgf・cm}	
回 転 速 度	約9sec (0～90° 最大トルク時)		33sec (0～90° 最大トルク時)	
羽 根 開 度 調 節	20～100% (18～90° 無段階)			
最 大 動 作 範 囲	93°			
閉 回 転 方 向	CW (時計方向回転)			
開 回 転 方 向	CCW (反時計方向回転)			
使 用 温 度 範 囲	-10℃～+60℃			
モーター保護形式	電子ブレーカー 動作解除……電源OFF			
ク ラ ッ チ 内 臓	電源遮断後手動操作可能			
そ の 他	屋内型・一般空調・開閉二位置制御			

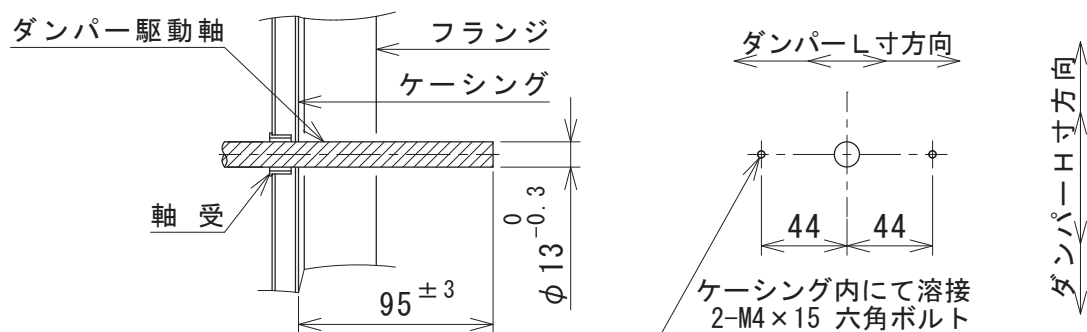
◆外形図 DCM-70-O□□□



◆外形図 DCM-2-O□□□



◆ダンパー加工図 DCM-70-O□□□



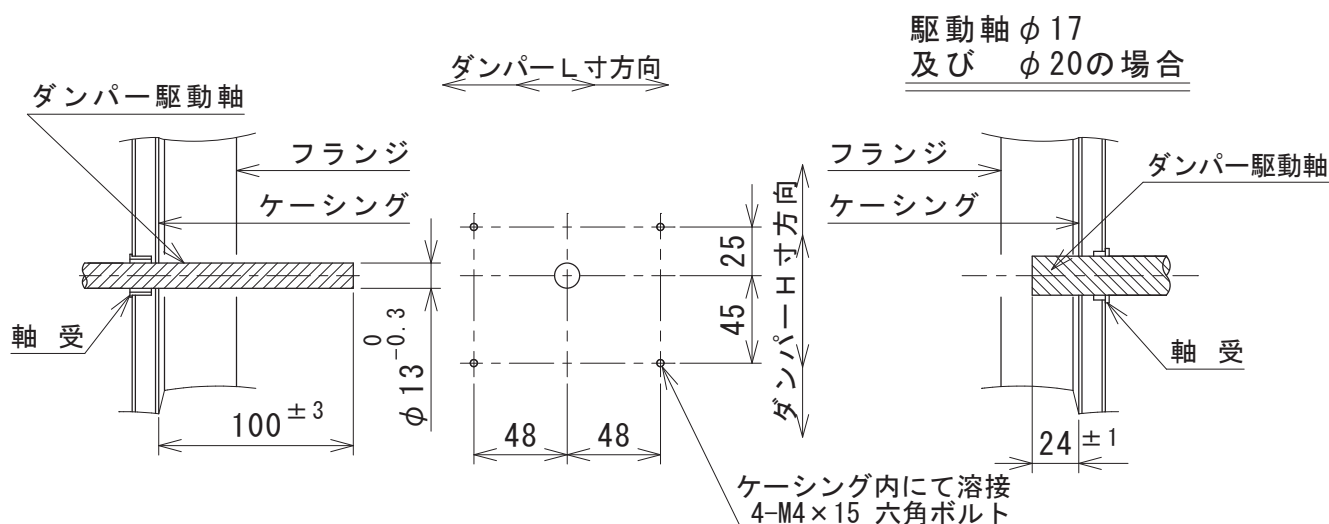
◆機器取付

1. 【注意】機器単体出荷時は、閉位置を調整して出荷しています。
2. 機器取付側から見てダンパー羽根が右回転して「閉」になるよう製作してください。
3. 加工図にもとづき、機器取付ねじ、ダンパー軸の長さを加工してください。
4. ダンパー主軸に、機器主軸(カップリング)を通し機器を、座金、スプリングワッシャ、M4ナットでダンパーに確実に取付け、ダンパー主軸がせらないことを確かめて下さい。
5. ダンパー羽根を全閉位置にし、機器主軸(カップリング)と、ダンパー主軸を六角穴付き止めねじで、確実に止めます。ダンパー主軸との位置ずれを防止するためにザグリを行い、またねじのゆるみ止めに、接着剤等を使用して下さい。

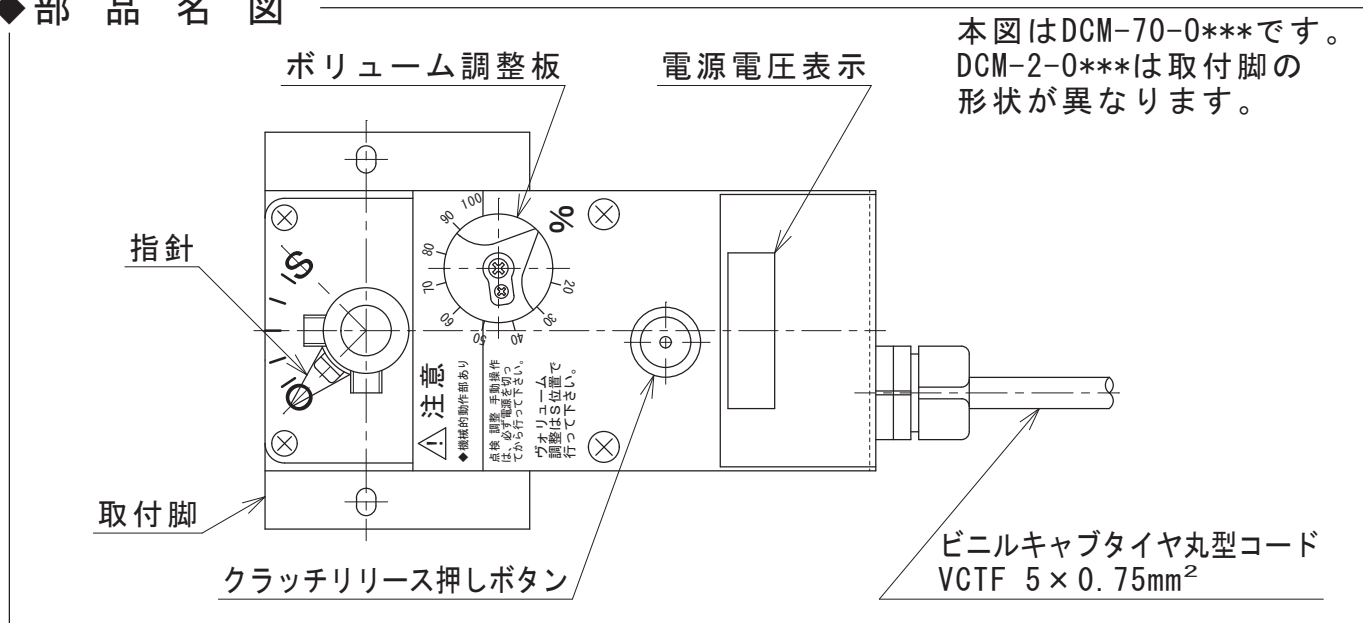
◆試運転

1. 【注意】入力電源電圧を、操作機器銘板にて必ず確認してください。
 2. DC 24Vの場合＋（プラス、マウス）の極性は、有りません。
 3. ダンパー羽根が閉っている状態で、赤リード線（共通線）と黒リード線に電源を入力するとダンパー羽根は左回転し開きます。
 4. 正常にダンパー羽根が開くと緑リード線に、黒リード線に入力した電源電圧もしくは、極性が出力されます。テスター等で確認して下さい。
 5. 【注意】本機器が途中で止ることがある場合は、モーターに過負荷が掛かり機器内部回路のオーバーカレント（過負荷保護回路）が働きモーターへの電源を遮断するためです。当然、緑リード線に電源は出力されません。もう一度ダンパー主軸や、ダンパー羽根がせっていないか、取付は正しいか調べて下さい。オーバーカレントのリセットは、一度元電源を遮断すると復帰します。
 6. ダンパー羽根が開いている状態で赤リード線（共通線）と白リード線に電源を入力するとダンパー羽根は、右回転し閉ります。
 7. 正常にダンパー羽根が閉まると黄リード線に、白リード線に入力した電源電圧もしくは、極性が出力されます。テスター等にて確認して下さい。
 8. ダンパー羽根がせったりしていないか、ダンパー羽根はスムーズに動作するか確認しながら、開閉動作を4～5回繰り返して下さい。
- 以上で試運転完了です。

◆ダンパー加工図 DCM-2-O□□□



◆ 部 品 名 図



◆ 開 度 調 整

【注意】 開度調整は、ダンパー羽根が閉じている状態で行って下さい。

機器出荷時は、100%（全開）になるように調整して出荷しています。

1. ボリューム調整板が回転しないようにしっかり押さえ、ボリューム調整板の中央にある調整板固定ねじ（下図参照）をゆるめて下さい。
2. ボリューム調整板の指針とボリュームシールの数値を、必要とする開度に合わせます。（数値は、全開に対しての%表示です。）
3. ボリューム調整板が回転しないようにしっかり押さえ、調整板固定ねじを締めて下さい。

【注意】 締め付けが悪いとボリューム調整板がずれて、開度がくるいます。

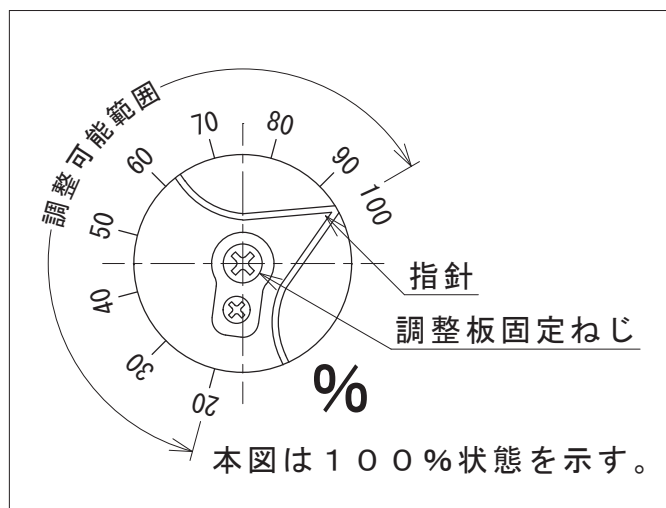
4. 電源を入力して、ダンパー羽根の開度を確認して下さい。
5. ダンパー羽根の開度が適切でない時は、もう一度ダンパー羽根を閉じ、手順 1～3を実施して下さい。
6. 調整が完了したら、試運転 1～7の項目を実施して下さい。
7. 全開に戻す場合、ボリュームシールの100の[1]とボリューム調整板の指針（下図参照）を合わせて下さい。

【注意】 指針位置をそれ以上右方向に回さないで下さい。

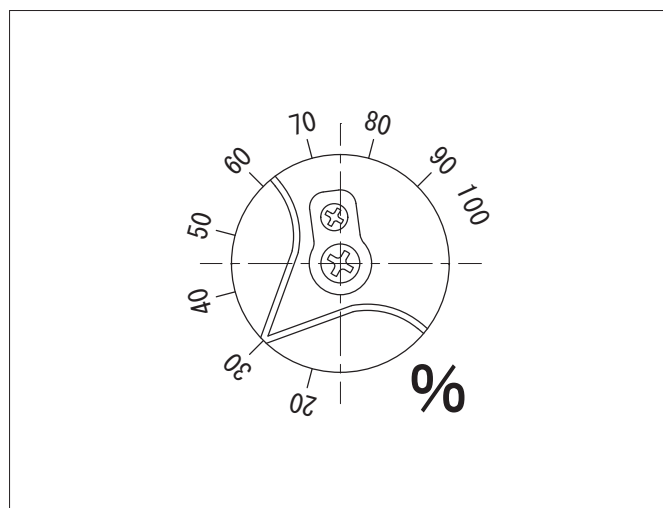
（開終端マイクロスイッチが動作しないことがあります。）

【注意】 開度調整は、下図の範囲内で行って下さい。

◆ 調整可能範囲状態図

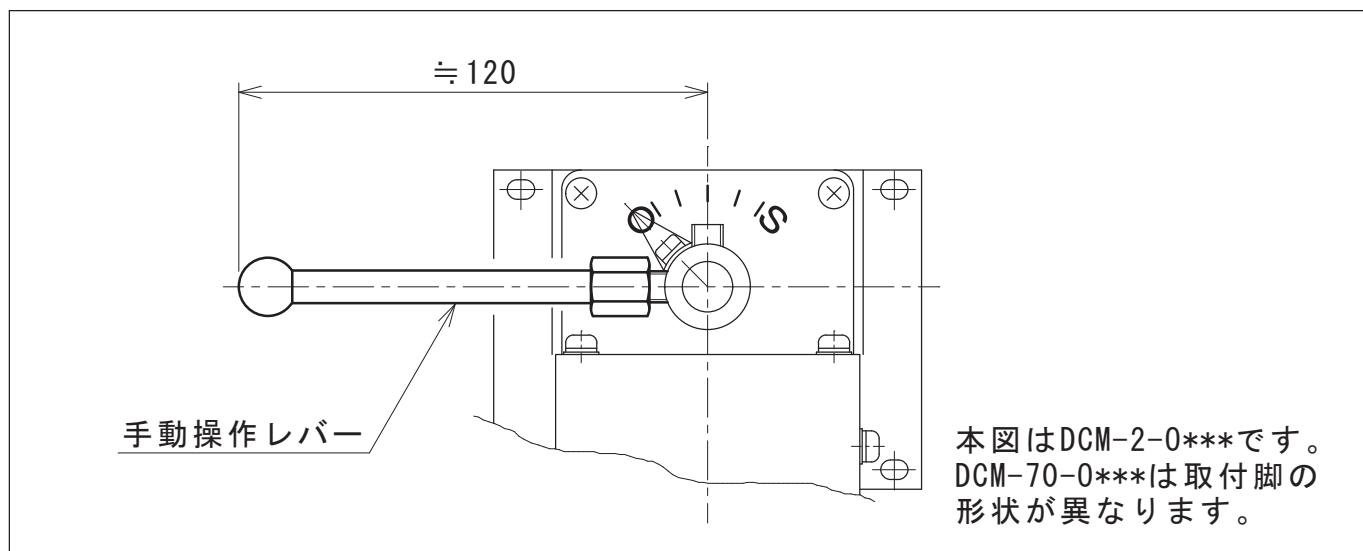


◆ 30%調整状態図

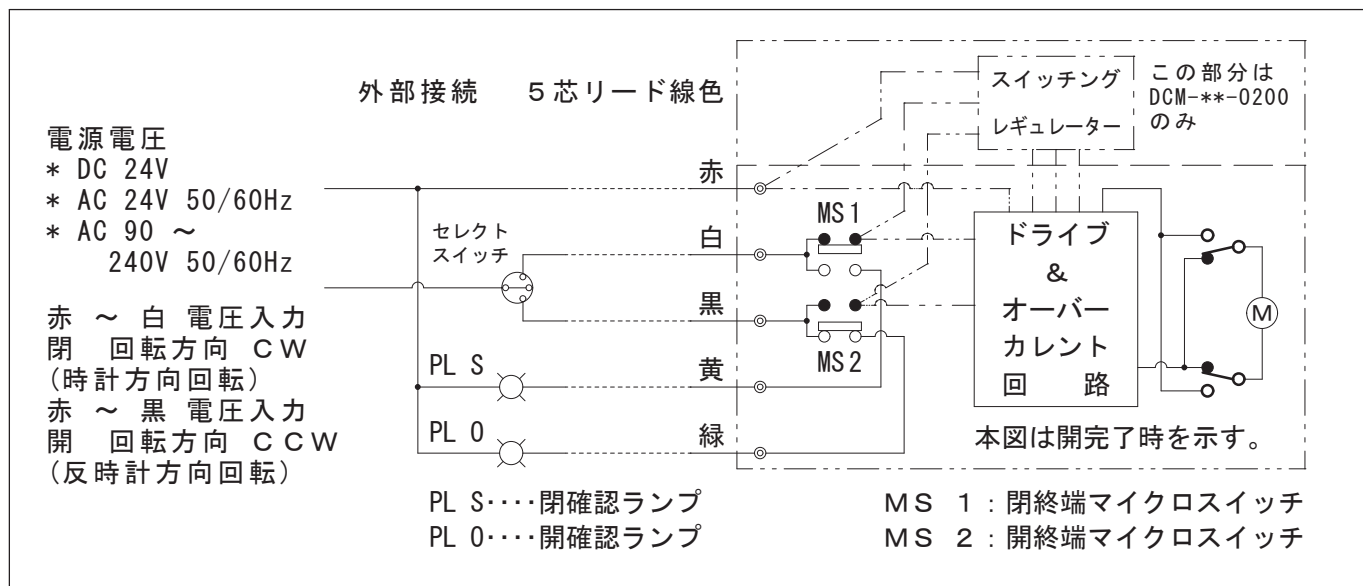


◆手 動 操 作

1. 【注意】 本機器のクラッチ機構は、歯車の連結を「はなす」「つなぐ」機構です。
必ず電源を切ってからクラッチの操作をして下さい。
クラッチリリース押しボタンを押している間のみ歯車の連結がはなれています。
2. クラッチリリース押しボタンを押したまま手動操作レバーで、機器主軸を回すことが出来ます。
3. 【注意】 機器主軸を保持した状態でクラッチリリース押しボタンを離し、クラッチが確実に連結するように手動操作レバーをわずかに左右に動かして、クラッチが連結してから手動操作レバーを離して下さい。
4. 手動操作レバーはオプションです。



◆結 線 図



◆ 並列結線例

1. 並列接続の場合、電源容量を確保して下さい。

2. 電源容量計算例（DCM-2-024の場合）

DC 24 V の場合

$$A = n \times 0.3 + 0.5$$

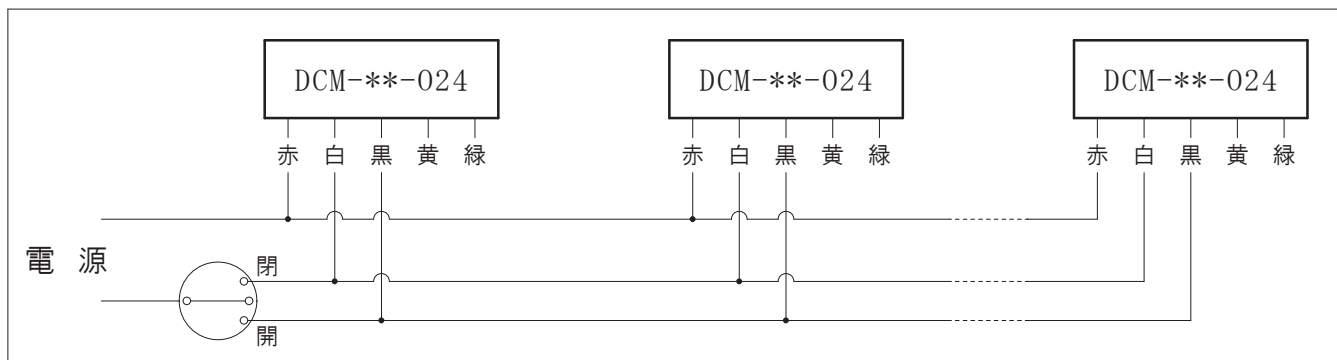
A : アンペア

n : 台数

0.3 : DCM-2-024の最大電流値

★ DCM-70-024

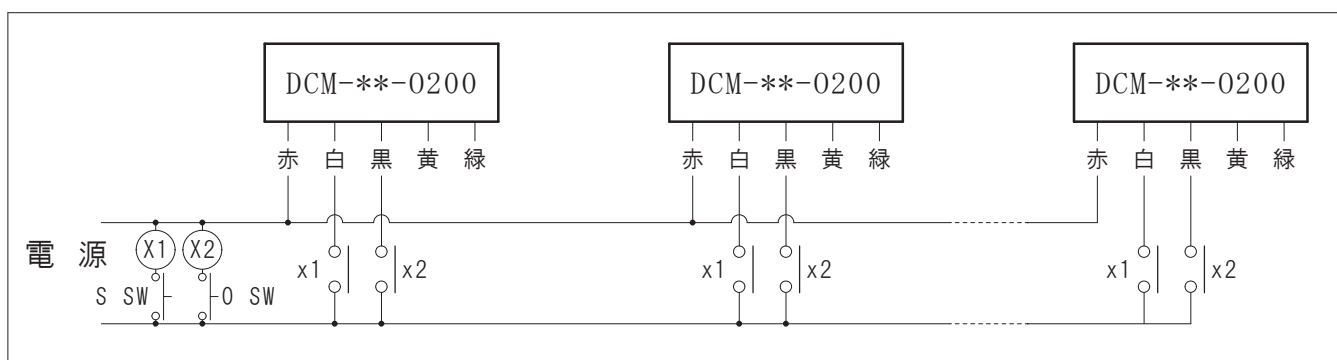
DCM-2-024



★ DCM-70-0200

DCM-2-0200

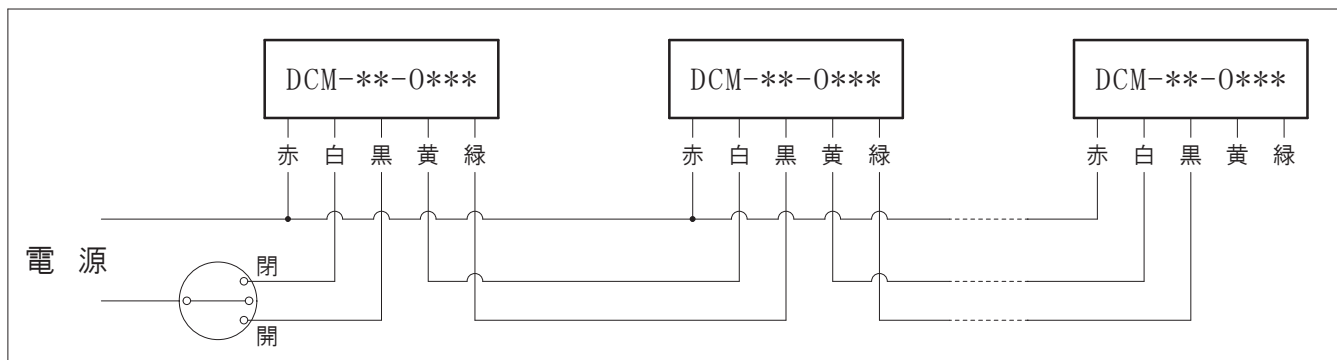
【注意】 回り回路が形成されるので、必ず白及び黒のラインはオープンとなるようにして下さい。



◆ 順送り結線例

★ DCM-70-024・DCM-70-0200

DCM-2-024・DCM-2-0200



◆その他取扱注意事項

1. 操作機器（ダイリツコントロールモーター）出荷時は、閉位置です。
2. 電源と操作機器が離れている場合は、操作機器接続部分で、規定値電圧が確保されるよう、元の電圧やケーブルの太さを考慮し選定下さい。
3. 操作機器のリード線で使用しないリード線は、ショートしないように個別に絶縁処理をして下さい。
4. 操作機器の設置環境は、高温、多湿、腐食性ガス、爆発性ガス等の雰囲気、振動の多い場所は避けて下さい。
5. 長期間保管される場合や、結線せずに放置する場合は、操作機器内部に水や、湿気が入らないようにして下さい。
6. 操作機器の周囲は、結線及び、メンテナンスの為のスペースを必ず確保して下さい。



本社：〒459-8001 名古屋市緑区大高町字丸の内38-1 TEL (052) 622-6351 FAX (052) 622-6355
東京営業所：〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-4-3 若山ビル 2F TEL (03) 5637-9921 FAX (03) 5637-9923
静岡営業所：〒422-8041 静岡市駿河区中田2丁目1番6号 村上石田街道ビル 5F TEL (054) 289-5255 FAX (054) 289-5256
工場：関（岐阜）、名古屋 物流センター：関（岐阜）